

【三〇代】

現実はとても厳しい。それでも汗水たらし頑張る人達がいる。予定調和が心地良かった。あつという間の二時間。(女性)

【四〇代】

町工場の心意気が気持ちの良い舞台だった。さいごは少し蛇足だったかも。(男性)

【五〇代】

多数の登場人物について、流れの中で自然にキャラが立って、関係性が把握できるような台本でない、ツライ！(男性)

町工場を舞台に、互いに認め合い助け合うことで、工場とそこで働く人々の心が再生される展開に、胸が熱くなった。(男性)

現実に必死にもがきながら生きていく人間群像が、いかにも今らしい。終盤、嫌な息子がとてもいい奴に感じていた。(男性)

鉄彦と竹夫、登場人物が時代の間で各々の立場で迷っている。他人事とは思えない。でも最後に残れるのはやはり心ですね。

職人の皆さんが工場で追い込み仕事をしている様子がもつとわかりやすいように、効果音等の工夫があれば、更にその心意気が伝わったような気がするのですが。(女性)

言わせて！  
今日の芝居  
五十字劇評 NO.2

【六〇代】

次第に肩の凝らない軽妙な芝居を求めるようになってきた私だが、今回は、希薄になってきた血の通った物づくり信頼と絆がテーマで、久々にさわやかな感動を覚えた。(男性)

演劇なのに途中から現実のよう  
に観てました！直球の芝居！  
鈴木瑞穂さん素敵です。(女性)

モノ作りの現場で生まれる人  
のつながり、熱い想いが心地よ  
い。エンジニアの一人として共  
感できた。(性別記入なし)

下町の工場で働く人と出演者の  
思いが等身大で浮かび上がまし  
た。ものを創るって面白いよネ！  
が伝わって来ます。(男性)

「。は台詞だからだ！元気に、  
直向きに「はい、奥田製作所。」  
十月のマイ市民劇場賞更新して  
しまった。(男性)

人間の生き方について考えさせ  
られた。今、表現の自由を守らな  
ければならない時代であることに  
強い思いを！(男性)

町工場で成り立つ日本ですが、  
その経営自体が難しい現状にあり、  
熟練工の育成と継承が危ぶまれる  
現代社会に不安と希望が交錯。(男  
性)

格差社会が広がる日本で、きび

しい立場にいる人たちにとつては、  
共感・涙、そして元気を頂けた感  
動作と思う。(男性)

私達の「今」に、果敢に取り  
組んで観せてくれた。若者達を、  
貧者の一灯ではありますが、心  
から応援します。(女性)

仕事内容は違いますが、青春  
時代と自然と重なり、懐かしく  
・切なく、涙していました。鈴  
木瑞穂さんの優しい声に癒され  
ました。(女性)



今はすべてコンピューターの時代。でも人間の指先の感覚でモノを作る。人間として働く、生きる事感じた。(女性)

内容は普通だからこそ、入り易く良いお芝居でした。新旧共に、認め、譲り、協調することが大切ですね。(女性)

合理性よりも、人と人とのつながりの大切さを教えてくれたお芝居でした。明日から明るく元気が出そうです。(性別記入なし)

### 【70代】

仕事に対する熱意(両者とも)が私の心に響きました。仕事つてこうあるべき、元気をもらいました。有難う。(女性)

とても感動しました。ただ、最後の製品完成までの父親と息子の葛藤、周りの同業者との関係など、もう少し知りたいと思つた。(女性)

### 【年齢・性別記入なし】

中小零細企業、よくぞ取り上げてくれた。流暢さは問わない。

大企業の横暴さに立ち向かって、生々しくて良い。(記入無し)

今日の日本の改革の基礎を築いたのは小さな町工場の長年の努力の上に成り立っています。それは需要と供給の絶対の信頼関係、これからも普段目につかない所で生き残りを賭けていくでしょう。私は農業者ですがモノ作りという観点からでは同じと思つています。相手との強い信頼関係で生き残りをめざします。(記入無し)



### 編集スタッフから

・二十代〜四十代の投稿が少ないなあ。若い世代の投稿、待つてますよ。

## 50字劇評 「言わせて！今日の芝居」に投稿を!

ここは、会員が「芝居を自由に語る場」です。率直な感想をお寄せください。

**署 名** “不要”です。ただし、編集の都合上、「男女」・「～歳代」だけは記入を。

**字 数** “50字”です。多くの会員の声を掲載したいからです。ご理解を!

**締め切り** 3月15日(土)

### 送付方法

**メール**・asa.gekijo.gekihyou@gmail.com(劇評専用アドレス)

\*「QRコード」御利用の場合→

**FAX**：0166-23-1645(市民劇場FAX:劇評担当宛)

**郵送・持参**：070-0033 旭川市3条8丁目 緑橋ビル1号館2F

旭川市民劇場 劇評担当宛

(\* 郵送・FAX・持参の場合、原稿用紙・便せん等、どんな用紙でも結構です。)

